



一般就労移行拡大のチャンス到来

目黒区健康福祉部障害福祉課長 篠崎 省三

フードコミュニティ目黒の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

フードコミュニティ目黒は、お弁当・おこわなどの自主製品の製造・販売をはじめ、商品の封入、菓子袋の折りなどの受注作業を通じて、利用者の工賃アップと一般就労への移行に重点を置いた事業を営んでおられますが、障害者雇用をめぐる国の施策は大きく前進しています。

平成25年4月から障害者の法定雇用率が引き上げられました。(例 民間企業1.8% →2.0%) また、6月には障害者雇用促進法が改正され、雇用の分野における障害を理由とする差別的取扱いの禁止や、事業主に、障害者が職場で働くに当たっての支障を改善するための措置を講ずることを義務付けるなど、障害者の一般就労促進の動きが加速しております。

このような好機を捉え、就労移行支援事業にさらに力を注ぎ、障害者の一般就労拡大にご尽力いただきたいと思います。

昨年もフードコミュニティ目黒を巣立って、一般就労された方がおりましたが、そうした成果を挙げられたのも、スタッフが利用者一人ひとりの個性や能力にきめ細かく対応し、日々の適切な訓練プログラムや丁寧な個別支援の結果であると思います。

これからも、スマイルプラザ中央町を拠点に充実した活動を通じて、利用者の一般就労に向けた訓練と支援の充実にご尽力くださいますよう、お願いいたします。

フードコミュニティ目黒(FC目黒)の状況

特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒理事長 渥美 昭美

今年度は「東京都の福祉サービス第三者評価」を受審します。

この第三者評価は、利用者が福祉サービスを利用しようとした時に「自分の利用したい事業所の特徴は?」「サービスの質はどのような状態か?」等が分かるようにするものです。FC目黒と致しましても第三者の評価を頂き、事業の透明性を高め、サービスの向上を図る機会とし、今後に活かしていきたいと思っております。

FC目黒では、就労継続支援事業(B型)の24年度の利用者の平均工賃は28,874円でした。

就労移行支援事業の利用者は就労に向けて、東京しごと財団で実習したり頑張っています。昨年就労した方は、企業人としてすっかり慣れて働いています。

これからも職員一丸となって、利用者一人ひとりの能力を的確に捉えた適切な支援を頑張っていきます。

就労移行に向けて

平成23年12月より就労移行支援事業をスタートし、2年目となりました。就労移行支援事業では2年の利用期間において職場体験や就職に向けた様々な活動を提供しています。面接練習や実習、職場探しを行い、本人に合った職場への就労に結びつけていかなくてはなりません。現在は3名の利用者が就労という目標に向け、日々取り組んでいます。今回は○さんを紹介します。



企業実習での
パソコン入力作業。

★パソコンのスキルアップを目指して★

利用者○さんは就職するにあたり、以前から興味があったパソコンを使った仕事をしていきたいとのことから、日頃よりパソコンに取り組んでいます。ワードでFC目黒の昼食メニュー表の作成、エクセルで他施設に納品しているお弁当の個数を打ち込んでの計算などを行っています。文字を速く正確に打ち込むことは就職後に必要な能力なのでタイピングソフトを使い、1分間に間違わず何文字打てたかも見ていきます。○さんもタイピングスピードがアップしていくことを実感し、励みになっているようです。

さらにスキルアップのために、ボランティアの方にパソコン指導をしてもらっています。インターネットを使って目的地や経路の検索、メールの操作など、様々な内容を幅広く教えて頂いています。これを活かして、企業実習先の経路を調べ、迷わず定刻に行くことも出来ました。

★面接・企業実習で自信をつける★

東京しごと財団主催の「職場体験実習面談会」に参加し、面接後、3日から1週間程度の企業実習を2回経験しました。実習ではパソコンを使っての事務作業の他に、書類のコピー、封入作業、メール便の受け取りや電話対応、接客などの人への対応も経験させてもらいました。その他、社内清掃、ゴミ捨てなど色々な仕事をこなしていました。接客については、企業の担当者様がマニュアルを準備してくれてそれに沿って行い、出来たことで、自信がついたようです。苦手意識のあった人とのコミュニケーションは、日に日に克服していき、大きな声で電話の対応が出来るようになりました。



書類のコピーは慎重に。

FC目黒で訓練をし、2年後に就職することは大変難しいことです。しかし、利用者一人ひとりの能力をしっかり引き出す十分な支援をしていくこと、各利用者に合った職場を開拓していくことなど、引き続き利用者とともにあきらめず取り組んでいきたいと思っています。
(支援員)

賛助会員募集

- ★会費は年度ごとに一口5,000円からです。
- ★ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。

振り込み先

郵便振替口座00140-9-706649
特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

利用者コーナー

■ F C 目黒の利用者16名は自主製品(弁当製造・おこわ・赤飯製造等)に関わる作業や、受注製品(袋折り・封入・自動車部品入れ等)の作業をしています。今回はこの作業とは別に F C 目黒での様々な活動について、3人の利用者の声を紹介します。

昼食後の後片づけ

ぼくは食事のあとランチルームをみんなできれいに掃除をしています。床に落ちたゴミを取ったり、イスをきれいに拭いたり、お盆を拭いたり5人で手分けしてやっています。少しずつ協力して出来るようになっていきます。みんなが頑張ってくれれば助かります。



ランチルームをきれいに。

明日の準備

午後は、配達るとき使った折りたたみコンテナを3人で拭いて、アルコール消毒しています。拭き残しがないように気をつけて拭いています。そのあとぼくは、下目の明日の容器、スプーン、はしの準備をしています。数え間違いのないように気をつけて数えています。



コンテナをしっかりと消毒！

花壇の水やり

ぼくは立候補して水やり係になりました。

花に水をやりすぎないように、いつもは2回あげるけれど土が湿っているときは1回にしておきます。ぼくは咲いている花を見るのが好きです。春にはチューリップとパンジーが咲きました。花が咲いてうれしかったです。夏にはアサガオが咲きます。今はサルビアの苗にも水をあげています。大きくなってきれいな花が咲くと思います。

ぼくは花が咲くのを楽しみに水やりをしています。



花が咲くのを楽しみに。

■チューリップ、パンジー、アジサイ、アサガオなど季節によって花壇の花が満開になります。「お花きれいだね～」と児童館に遊びに来た保育園の小さな子どもも笑顔で見てください。(支援員)



*イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です！



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに、和洋折衷バラエティ豊かです。

白米弁当/500円
赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各600円



赤飯
400円



山菜おこわ
400円



お萩
5個入り・400円